

# 新たな国会 政治変える力

## 当選12氏の横顔

当選した日本共産党12氏の横顔を紹介します。(丸数字は当選回数)

塩川 鉄也さん (55)⑦



北関東ブロック

7期目の当選。議院運営委員として臨時国会の冒頭解散や自民・公明の乱暴な国会運営に抗議。徹底審議や少數会派の発言保障を求めてきました。

災害では現地調査をもとに被災者への支援拡充を求め、収穫後の米や農機具への助成などを実現。東海第2原発廃炉、再稼働ストップでも力を尽くします。

7期目の当選。議院運営委員として臨時国会の冒頭解散や自民・公明の乱暴な国会運営に抗議。徹底審議や少數会派の発言保障を求めてきました。

2015年の関東・東北豪雨

高橋千鶴子さん (58)⑥



東北ブロック

6期目の当選。東北では昨年の参院選で5県の1人区、7月の仙台市長選などでも野党統一候補が勝利しました。国会で法案の共同提出など共闘を進め、市民と野党的力で議席を勝ち取りました。

「ふるさとを捨てるのは簡単」と言い放った復興相を本会議で追及。被災地、弱い立場の人々の声を代弁する「東北の命綱」です。

赤嶺 政賢さん (69)⑦



自民、維新を退け7選を決めました。「オール沖縄」の勝利で辺野古新基地建設に決着をつけようと訴え、小選挙区で2度目の当選の快挙です。

高江のヘリ墜落ではすぐに現場に駆けつけて抗議。選対には党議員だけでなく翁長県政与党会派の県議が集まり、知事はじめ首長、保守・無党派市民が支援し押し上げました。

沖縄1区

畠野 君枝さん (60)②



1998年から参院議員を1期務め、14年衆院選で当選、今回2期目。給付制奨学金、大企業リストラなど教育・雇用問題に取り組み、35人学級について「努力したい」という首相答弁を引き出しました。

川崎市でのヘイトスピーチ(差別扇動行為)デモへの抗議行動に市民とともに参加。ヘイトスピーチ解消法成立にも尽力しました。

志位 和夫さん (63)⑨



南関東ブロック

9期目の当選。安保法制強行後、市民の声に応え「市民と野党の共闘」を推進、総選挙でも「共闘の大義」を貫きました。国会論戦では安倍政権の暴走と対決し、政治を変える展望を示しました。

核兵器禁止条約の国連交渉会議(3月、7月)に党代表団長として参加。条約実現のために力を尽くすなど、日本と世界の政治を動かしています。

笠井 亮さん (65)⑤



参院議員1期を経て、衆院1期目の当選。広島で被爆した母から戦争体験を聞いて育ち、平和が原点。国会で陸上自衛隊の日報隠ぺい問題を追及しました。核兵器禁止条約とともに参加しました。

戦争法、憲法、原発、築地市場移転など各分野で質問。政策委員長を務める論客としてテレビ討論でもおなじみです。

東京ブロック

本村 伸子さん (45)②



2期目の当選。父は長崎で被爆、叔父は2歳で命を奪われ、戦争法廃止、憲法を守る思いはひとしお。国内企業が米軍F35戦闘機整備の下請けになる問題をただし、他党議員に「一度政権を取って」と感服されたことも。

ローカル線廃線の一方、JR東海のリニア建設を優遇する政府を追及し、地方路線への支援を約束させました。

宮本 徹さん (45)②



2期目の当選。中学校給食実現、原発ゼロのママ・パパデモンディアの支援で共感を広げました。

東京外環道の入札疑惑や森友・加計(かけ)学園問題の質問はメディアも注目。財務金融委員会で税金の集め方と使い方を追及、消費税増税中止を求め安倍首相と論戦を重ねました。

2期目の当選。中

田村 貴昭さん (56)②



2期目の当選。熊本地震、九州北部豪雨の被災地に何度も足を運びました。熊足を運びました。熊本地震ではレトルトやカップ麺活相談を受け、市民の苦難の解決に尽くしたのが原点。持ち前の機動力と論戦力で生活者の声を国政に届け、実現します。

穀田 恵二さん (70)⑨



9期目の当選。党国対委員長20年。議会制民主主義を守り筋を通す対応に与野党議員の信頼が厚く、選挙中、小沢一郎自由党代表や川端達夫前衆院副議長が事務所を訪れ、激励しました。選対委員長として野党共闘を推進しました。

まち壊しの違法「民泊」規制、伝統産業振興に奔走。気さくな人柄で保革問わず支持される「京の顔」です。

近畿ブロック